

平成 29 年度 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 共同利用研究計画公募要領

本研究所は日本初の産業数学の研究所であり、多様な数学研究に基礎を置く、新しい産学連携の拠点として平成 23 年 4 月に附置研究所として設立されました。平成 25 年 4 月には文部科学大臣から共同利用・共同研究拠点「産業数学の先進的・基礎的共同研究拠点」に認定され、理念である「マス・フォア・インダストリ」の具現化を推進しているところです。その事業の一環として、本研究所は平成 29 年度の共同利用研究を下記の通り公募します。多数応募いただきますようお願い申し上げます。なお、本研究所では今回の公募からテーマを決め、一定数の研究計画を「プロジェクト研究」として別途確保することとしました。詳細は以下をご覧ください。

1. 公募する研究種目

研究集会

本研究所もしくは九州大学の施設において、数日間の研究集会を公開で行うものです。内容や規模に応じて(I), (II)の 2 種に分かれています。両者とも組織委員会の委員と講演者には、それぞれ産業界からの参加を必須とします。また国際連携を進めるため、講演者として海外からの参加者を含めることが望ましいです。研究集会終了後には研究代表者に A4 で 2 ページ程度の成果報告書を提出していただき、また、会議録を出版していただきます。会議録は原則として本研究所のウェブページで公開します。

短期共同研究

本研究所において、数名のグループで 1 週間程度の実質的な共同研究を行うものです。研究テーマとして、個々の企業の知的財産に直結するような狭い問題よりは、複数の企業や研究機関の研究者が協力して取り組めるような、ある程度の普遍性をもった問題を重視します。また、産学連携を推進するために原則として産業界からの参加者を含めることとし、共同研究実施中に講演などの一部を公開できるように計画してください。ただし、研究発表が主となるような計画は上記の研究集会の種目に応募してください。研究終了後には研究代表者に A4 で 10 ページ程度の成果報告書を提出していただきます。

短期研究員

本研究所に 1 週間から 2 週間程度滞在し、本研究所を中心とする九州大学に所属する教員と緊密に連絡を取りながら単独での研究ないしは共同研究を行うものです。研究テ

マとして、短期共同研究や研究集会につながるような萌芽的な課題、あるいは企業等での研究開発現場で生じた、集中的な共同研究が問題の解決やその糸口につながるような課題など、近い将来、産業数学や産学連携の新たなシーズとなるような課題を歓迎します。応募の際は、予め関係する本研究所または九州大学の他部局の研究者と連絡を取り、協議をした上で計画を立ててください。研究終了後には、A4で5ページ程度の成果報告書を提出していただきます。

2. 事業経費と研究支援

(1) 研究集会(I)

研究テーマが課題として認知され、産学連携も視野に入れた展開が可能なものを主としてこの種目で審査します。旅費(海外招聘旅費を含む)として80万円程度を上限として支援します。ポスターを制作・配布することとし、これにかかる作業および経費は本研究所が負担します。状況によっては本研究所以外の九州大学の施設で開催することも可能ですので、ご相談ください。その場合には会場費を本研究所が負担します。会議録は本研究所の出版する「MIレクチャーノート」(カラー150ページ程度)として出版していただきますが、研究所と協議の上で、シュプリンガー社が出版する叢書「Mathematics for Industry」の1巻として英文で査読付きの会議録として出版することも可能です。前者の場合は当該年度内に出版していただきますが、後者の場合は必ずしも当該年度内でなくとも出版が可能です。これにかかる出版費は本研究所が負担します。

(2) 研究集会(II)

研究テーマが研究集会(I)よりは萌芽的な色彩が強いものをこの種目で審査します。旅費(海外招聘旅費を含む)として60万円程度を上限として支援します。会場は原則として本研究所の施設とします。会議録を本研究所が出版する「マス・フォア・インダストリ研究」シリーズの1巻(モノクロ200ページ程度)として当該年度内に出版していただき、出版にかかる経費は本研究所が負担します。

(3) 短期共同研究

国内旅費として60万円程度を上限に支援します。参加者には本研究所内の研究室とセミナー室を提供します。

(4) 短期研究員

国内旅費として25万円程度を上限に支援します。参加者には本研究所内の研究室を提

供します。また、必要に応じてセミナー室の使用も可能です。

なお、経費支援、会場の手配、会議録などの制作・配布に関わる事務や、共同利用研究実施の際に必要な作業は研究所が行います。宿泊の手配や送迎は、原則として行いません。また、参加者は図書館（会場によっては利用できません）、インターネット接続などの研究資源を利用することができます。

3. 公募の種別

(1) プロジェクト研究

「よりよい都市・社会の構築のための基盤技術としての離散最適化の研究」

プロジェクト代表者：小林和博（東京理科大学），神山直之（九州大学）

平成 29 年度は本テーマに関する研究計画をプロジェクト研究として他の計画と区別して公募します。本プロジェクト研究では研究集会(I)1 件，短期共同研究 2 件程度を実施し，短期研究員は 1 名程度を募集します。

(2) 一般研究

このカテゴリーでは研究分野を特に指定せずに公募します。研究集会(I)3 件，研究集会(II)2 件，短期共同研究 6 件程度を実施する予定です。また，短期研究員は 3 名程度を募集します。

以上の研究計画は，すべて平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに実施されるものとしします。

4. 応募方法

(1) 応募資格

大学・大学院・短期大学，大学共同利用機関，高等専門学校，国公立試験研究機関，独立行政法人および企業に所属する研究者。

(2) 応募方法

本研究所のウェブページ

<http://www.imi.kyushu-u.ac.jp/>

から電子申請システムを利用して共同利用研究計画提案書を作成し，応募して下さい。採択された計画について，提案書の内容の一部はウェブページなどを通じて公開します。 応募に必要なデータや公開する項目などの詳細については上記ページの説明をご

覧下さい。なお、共同利用研究計画提案書には、研究集会、短期共同研究については本研究所内に専門分野が関連する研究者がいれば、その名前を記入していただきます。特にいなければ記入の必要はありません。なお、所内の関連研究者の記入の有無が採否に影響することはありません。また、短期研究員の場合は、研究テーマに関連する九州大学の研究者の記入は必須です。本研究所員や九州大学の研究者の専門分野については、研究所もしくは九州大学のウェブページをご参照下さい。

(3) 応募締切日

平成 29 年 1 月 31 日 (火)

5. 選考方法と採否の連絡

学外有識者と学内教員（本研究所所員を含む）8名ずつで構成される共同利用・共同研究委員会において審査の上、採否を決定します。プロジェクト研究はプロジェクト代表者が審査し、共同利用・共同研究委員会で採否を決定します。採否は平成 29 年 2 月末までに申請者にお知らせします。委員の名簿は研究所のウェブページをご覧ください。

6. その他

研究は本研究所が支出する経費に外部の競争的資金などを加えて実施しても差し支えありませんが、主催は本研究所とします。共催の機関を加える必要がある場合は、申請時にその旨を「備考」に記入して下さい。また、研究終了後に提出していただく成果報告書は、個人情報などに関わる部分を除き、原則として研究所のウェブページで公開します。ただし、3年間程度を限度として公開を遅らせることができます。これまで問い合わせのあった事項に関して「Q&A」を本研究所のウェブページに掲載していますので、参考にして下さい。短期研究員に関しては、必要があれば本研究所の産学連携窓口が立案を支援します。詳細は以下の問い合わせ先にお尋ね下さい。

7. 問い合わせ先

九州大学マス・フォア・インダストリ研究所
共同利用・共同研究拠点事務 伊藤 和子・藤 真夕子
〒819-0395 福岡市西区元岡 744
Tel.: 092-802-4408
Fax: 092-802-4405
E-mail: kyoten-jimu@imi.kyushu-u.ac.jp